NIE実践報告

1．タイトル：新聞に親しもう！　～小さな国際人をめざして～

2．学校名

栃木県佐野市立吉水小学校

3．実践者名（代表者名）

小松原　眞理子

4．学年

６年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合　２８名

6．単元（本時の学習課題）名

新聞で世界とつながろう

7．目標(狙い)

新聞から情報を読み取り、自分の考えをもつことができる。

8．評価の視点

新聞からの情報を整理し、内容をとらえ、そこから感想や意見をもつことができる。意見をもつことによって社会（世界）とつながると考える。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

授業時間の中ではなく朝の学習時間（１０分間）に実施

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①　朝の学習時間に新聞を読み、気になった記事を選び、スクラップしコメントを付けるという活動を繰り返し行う。
②　みんなの広場（全校児童の昇降口前）のホワイトボードに「今日の新聞から」のコーナーを作り、気になった記事の見出しや内容を書き、コメントを付ける。
③　みんなの広場（全校児童の昇降口前）のホワイトボードに「吉水小ニュース」のコーナーを作り、学校行事を中心に発信する。

（留意点）
・新聞記事は児童の興味・関心を引き出すために、どこからでも選んでよいこととした。なかなか選べない児童には、写真記事が分かりやすいことを伝えた。
・コメントは感想から、だんだん自分がどう考えるか、内容によってはこれからどうすべきかの意見がもてるよう支援をした。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

初めは新聞のどこに何が書いてあるか分からなかった児童もだいたいの構成を理解することができた。感想しか書けなかった児童も意見をもち書くことができるようになってきた。

12．成果と課題

毎日短い時間ではあったが新聞にふれていたので、新聞に親しみをもつことができるようになった。「先生、これ見て！」と新聞片手に話したり、会話の中に「新聞に〇〇と書いてあった！」と伝えたりする児童が増えた。「よかった」「かわいそうだった」というコメントから「こうすべきだ！」「こうしていきたい！」と新聞を通して社会と結びついていくことができるようになってきた。１クラスでの取り組みであり、教科としても取り組めなかったので、来年度は全校で年間指導計画にも結び付けていきたい。